



秋竹小 学校だより

第104号 平成26年4月18日

小鳥来て花からのぞく青き空

なかま始まり集会 26年度のなかまたち

4月16日(水)なかま始まり集会がありました。18名の1年生を迎えて、平成26年度のなかま活動が始まりました。この集会は、初めての顔合わせの会です。

6年生に手を引かれ、全校が見つめる中、1年生が入場。その後、やや緊張気味ではありましたが、一人一人、自分の名前をよい声で発表できました。



なかま班での顔合わせでは、自分の似顔絵を描いたカードを持ち、自己紹介をしながら、「あっちむいてほい」。リーダー、サブリーダーや5・6年生が、他学年に声をかけながら、活動を進めました。続いて、「勝った負けたじゃんけん」では、勝った人が「負けた」、負けた人が「勝った」と言いながらじゃんけんをしました。なかなか難しいのですが、楽しめたようです。



1年生退場では、6年生におんぶしてもらってニコニコ顔の1年生でした。リーダーとして、班の活動を仕切った6年生。たいへんおつかれさまでした。そして、サブリーダーも6年生のお手伝いがよくできました。なかまの顔がいつもニコニコ輝くように、6年生、5年生に活躍してほしいと願っています。



1年生、給食開始

昨日から1年生の給食が始まりました。初めての給食は、子どもたちが大好きな『カレーライスとミンチかつ』まず、4時間目には、担任の小神先生から、給食準備の手順と会食、片付けなどの時間について教えていただきました。その後、当番は、エプロンや帽子などの身支度を済ませ、盛り付けを始めました。自分の給食はもちろん当番さんの給食も、みんなで作りました。



「いただきます」の声が終わっても、一瞬「し〜ん」。小神先生が「食べていいんだよ」と声を掛けられたら、ようやく子どもたちの顔がほころびました。牛乳に手を伸ばす子、スプーンをもって早速カレーを口に運ぶ子…。みんな、おいしそうに初めての給食を食べました。

全部食べることのできない子もいましたが、みんなそろって「ごちそうさまでした」

